

日本と台湾の ターミナルケアの現場から

～チームマネジメントとターミナルケア体制の課題～

日本をはじめ、世界で進む高齢化という地球規模の課題。

なかでも「高齢者福祉施設におけるターミナルケア」のあり方は重要課題の一つで、

近年は日本だけでなく台湾においても議論が活発化しています。

今回、本学と包括協定を結んでいる台湾台北市の総合大学 東呉大学の
ソーシャルワーク学科教授 莊秀美先生の来日に合わせて、公開シンポジウムを開催します。

特に、組織における多職種協働の重要性や専門職のリーダーシップなど、
「チームマネジメント」「ケア体制」にフォーカスし、日本と台湾の現状と課題を議論していきます。



莊 秀美 先生 (Chuang, Hsiu-Mei)

PROFILE

1997年3月、久留米大学比較文化研究科地域福祉社会学専攻 後期博士課程修了、博士号取得。2008年2月～現在、東呉大学人文社会学部ソーシャルワーク学科教授。2019年8月1日～2022年7月31日、東呉大学人文社会学部ソーシャルワーク学科長。

■主な論文

- ・莊秀美 (2022, Sep) / 「日本推動社區整體照顧體系建構的相關課題與政策動向」COMMUNITY DEVELOPMENT JOURNAL (Quarterly), (中文)
- ・莊秀美、趙碧華 (2022, Mar) / 「台湾介護政策の展開とケアマネジメントをめぐる問題～地域包括ケアの実現に向けて～」地域連携教育研究 (Journal of Community Support and Learning), (日文)

■主な研討會論文(シンポジウム)

- ・莊秀美、趙碧華 (2022, Feb) / 「台湾における長期介護十年計画とケアマネジメント～地域包括ケアシステムの実践課題に関連して～」日本と台湾におけるケアマネジメントの現状と課題～在地老化 (Aging in Place) とケアマネジャーの役割とは～」オンラインシンポジウム、日本 (視訳會議)

■研究テーマ

「介護施設における終末期ケアの現状、体制調整および政策構築に関する研究: 日本経験作為台湾借鏡の可行措施之分析」(Research on the Existing State, System Response and Policy Construction of end-of-life Care in Long-term Care Institutions: Analysis of Japan's Experience as a Feasible Measures Reference for Taiwan) 台湾国家科学及技術委員会 (National Science and Technology Council) 補助研究 (プロジェクト番号: NSTC 112-2410-H-031-038), 補助年度: 2023年度。

申込不要
参加無料

2023年 **11月11日** 土

13:00～15:30
(12:40開場)

場所: 文京学院大学ふじみ野キャンパス W302(講堂)

住所: ふじみ野市亀久保1196

電話: 049-261-6488(代)

最寄り駅: 東武東上線「ふじみ野」駅より スクールバス7分

開会挨拶	文京学院大学 人間福祉学科 学科長	中島 修
シンポジウム 登壇者	東呉大学社会学系教授	莊 秀美氏
	文京学院大学 人間福祉学科 准教授	高橋 明美
	社会福祉法人福音会 在宅部門ゼネラルマネージャー	宮川 大蔵氏
	社会福祉法人福音会 施設部門ゼネラルマネージャー 特別養護老人ホーム 福音の家施設長	戎 めぐみ氏
	軽費老人ホームA型 町田愛信園施設長	
	社会福祉法人白十字会 白十字ホーム 運営管理担当部長	鈴木 剛士氏

【主催】文京学院大学人間学部人間福祉学科

【後援】台湾国家科学及技術委員会補助研究 / 台湾東呉大学社会学系

お問い合わせは toba@bgu.ac.jp (鳥羽美香)